

平成22年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年10月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,127億円余
2. 前年同月比	-3.8% (31か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-4.7%(88.2%) : 非店頭+3.3%(11.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成22年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	943,473㎡ (前年同月比:-0.3%)
6. 総従業員数	20,864人 (前年同月比:+1.8%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 -5.4%、3-5月 -4.0%、4-6月 -4.1%、 5-7月 -3.0%、6-8月 -3.5%、7-9月 -2.9%

[参考] 平成21年9月の売上高増減率は-10.5% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

- (1) シルバーウィークの分散化は集客にとってマイナス与件だが、都内では入店客数がほぼ前年並みに推移した。この要因には、地方物産展等の催事強化策、一部店舗における増床・全館改装、有力テナントの新規導入といった取り組みが考えられる。
- (2) 東京地区の非店頭売上が3か月連続で前年比プラスとなった。店外催事(ホテルを会場とした優待セール等)や法人外商の大口受注などで、全体の売上を下支えする構図が見てとれる。
- (3) 秋の旅行シーズンに向けて、都内各店共にトラベルグッズの品揃え強化を図った結果、この分野の売上は概ね前年をクリアした。
- (4) 東京地区の家庭用品売上が堅調(+0.2%)に推移した背景には、最近の家庭回帰志向の高まりに加えて、秋の新生活(転居・転勤・新学期等)需要が重なったことがある。
- (5) 10月中間段階での都内の売上動向は、ようやく主力の秋冬物重衣料にも動きが出始めたことなどから、およそ半数の店舗で前年比プラスとなっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 29.7日 (前年同月比-0.3日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)
①増加した: 9店、②変化なし: 4店、③減少した: 6店、④不明: 3店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上 (同上)
①増加した: 1店、②変化なし: 7店、③減少した: 5店、④不明: 9店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値)
①増加する: 4店、②変化なし: 13店、③減少する: 2店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2010年09月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	112,756,900	100.0	-3.8
紳士服・洋品	7,855,514	7.0	-7.7
婦人服・洋品	24,803,892	22.0	-9.5
子供服・洋品	1,983,903	1.8	-3.9
その他衣料品	2,236,319	2.0	-18.8
衣 料 品	36,879,628	32.7	-9.5
身のまわり品	16,090,943	14.3	-3.6
化粧品	6,584,456	5.8	-3.3
美術・宝飾・貴金属	6,212,989	5.5	-4.4
その他雑貨	5,987,847	5.3	-2.1
雑 貨	18,785,292	16.7	-3.3
家 具	1,971,339	1.7	-4.9
家 電	533,020	0.5	-21.5
その他家庭用品	4,136,879	3.7	6.7
家 庭 用 品	6,641,238	5.9	0.2
生 鮮 食 品	4,143,055	3.7	1.0
菓 子	6,666,863	5.9	-2.9
惣 菜	5,635,022	5.0	-0.5
その他食料品	8,841,625	7.8	-5.8
食 料 品	25,286,565	22.4	-2.8
食 堂 喫 茶	3,265,092	2.9	-0.7
サ ー ビ ス	2,221,437	2.0	21.5
そ の 他	3,586,705	3.2	37.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商 品 券	5,940,429 千円	45.9
従 業 員 数	20,864 人	1.8
店 舗 面 積	943,473 m ²	-0.3
営 業 日 数	29.7 日	前年 30.0 日

II. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月ぶりにプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品。その他家庭用品が3か月連続のプラスとなり、生鮮食品が2か月ぶりにプラスとなった。また、5品目の身のまわり品と雑貨は先月より改善し、子供服・洋品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、家具、家電、惣菜も改善する動きとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.8	—	31か月連続マイナス
紳士服・洋品	-7.7	-0.6	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-9.5	-2.2	26か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.9	-0.1	4か月連続マイナス
その他衣料品	-18.8	-0.4	29か月連続マイナス
衣料品	-9.5	-3.3	26か月連続マイナス
身のまわり品	-3.6	-0.5	30か月連続マイナス
化粧品	-3.3	-0.2	22か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-4.4	-0.2	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.1	-0.1	28か月連続マイナス*
雑貨	-3.3	-0.5	29か月連続マイナス
家具	-4.9	-0.1	4か月連続マイナス
家電	-21.5	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	6.7	0.2	3か月連続プラス
家庭用品	0.2	0.0	2か月ぶりプラス
生鮮食品	1.0	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	-2.9	-0.2	5か月連続マイナス*
惣菜	-0.5	0.0	30か月連続マイナス*
その他食料品	-5.8	-0.5	3か月ぶりマイナス*
食料品	-2.8	-0.6	24か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.7	0.0	23か月連続マイナス
サービス	21.5	0.3	6か月連続プラス
その他	37.6	0.8	6か月連続プラス
商品券	45.9	1.6	14か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>